

市内NPO法人数	29	団体
当センター登録団体数	106	団体
当センター登録会員数	6,304	人
4月来館者数	1,700	人
4月印刷機利用枚数	55,693	枚

H27年4月末日現在

ひびき



発行枚数 400枚

発行人 指定管理者 NPO法人 茨城県南生活者ネット 龍ヶ崎市市民活動センター長 田沼信之

龍ヶ崎市市民活動センターは社会貢献活動を行う団体を支援するための施設です。
 会議スペース・作業スペース・印刷機・紙折り機・パソコン・多目的室等（1階）や大会講室・
 小会議室・パソコン室・和室・工作室（2階）・陶芸室（1階外倉庫隣り）がご利用いただけます。
 開館時間 = 午前9時～午後7時(日曜祝日は午後5時まで) 2階各室は夜間(午後10時まで)利用可能です。
 休館日 = 月曜日および年末年始

〒301-0004 龍ヶ崎市馴馬町2445 TEL 0297-63-0030 / FAX 0297-63-0571

E-mail r-suwan@titan.ocn.ne.jp URL http://r-shimin.sakura.ne.jp/

(Google又はYahooから「市民活動日本一」で検索→「龍ヶ崎市市民活動センター」をご覧ください。)

今月のトップニュース

センター長の「目指せ！市民活動日本一」その28

センター長の想い「市民活動に経済的価値をつけよう」

市民活動センターは登録団体限定のフリーマーケットの開設企画に着手します。



戦後生まれの第2ステージを迎えたほとんどの者は食うために働き、働くことを生きがいとして
 脇目もふらずただひたすら働き続けて、退職後は「世の為、人の為」などと心豊かな人生を夢見て
 現役を卒業した者もいると思う。ところがどうだろうか？

あつという間に世の中は 急変…。我々がコツコツ働いて払った年金は下がる一方… 介護保険制度が新設され天引き…
 なんだかんだと理屈をつけて税金は上がる一方。年金生活者には暮らしにくくなった今日を迎えている。
 年金おやじの小遣いが急減したのである。小遣い稼ぎで働こうと思っても、経済の都市集中化が一層進み、我が
 龍ヶ崎では第2ステージを迎えた者の働き場所などほとんどないのが現状だと思う。

年金生活者はこれまでの夢とは裏腹にあつという間に貧乏生活に引き込まれてしまっていたのである。

残念ながら、この経験のない若い人には理解しにくいことだと思う。

私も東京でサラリーマン生活を卒業したが、おかげさまでまだ首都圏の仲間とはお付き合いさせていただいている。

例えば横浜のマンションで第2の人生を迎えた仲間の話聞いてみた。

「窓から見下ろすすばらしい夜景、街は買い物客であふれにぎやかできれい。若者であふれている。

若者のまねごとなのだろうか！おしゃれなシニアが街を歩いている。」

なんとといっても住居が狭くて一日中家で過ごすのは少々苦痛である。街でラーメン一杯800円。コーヒーでも
 飲むなら500円。だから、サラリーマン時代の生活スタイルを続けるために働くのである。

職場はいくらでもある。龍ヶ崎の生活と一番の違いは「働ける」ということだと思う。小遣いを稼ぎ、それで若さを保つ
 ために働いているのである。

龍ヶ崎はどうだろうか？ミニコミ紙などを見てもシニアの働く場所は少ない。

特に多くの男性諸君は知人などのネットワークが乏しく、勢い小遣いの少なくなった者にはとても肩身の狭い
 日が続いていると思う。

そこで提案。趣味を活かし市民活動の中からその資金を得るのである。さらに事業者が雇ってくれないならば、自分が
 事業者になれば良いのではないだろうか。より豊かな社会奉仕活動を展開するのである。

第2ステージを迎えても元気な者は、週1～2日働くのである…。昔取った杵柄を思い出すのである。

厄介なのは、我々は経済成長期を過ごしたので就職で困ったことはなく、今の若い人のように職を求める努力を
 したことがないだけなのである。

知恵を結集して人のためにも働き、自分の心の豊かさを求めるのはどうだろうか？

市民活動センターでは活動資金集めのお手伝いとして、登録団体の創作品等を対象としたフリーマーケットの開催
 企画に着手します。皆様からのアイデアも募集します。窓口は市民活動センター(63-0030)まで

まいりゅう小中学生科学クラブによる子どもたちのための科学実験教室が昨年度より内容をさらに充実してスタートします。
 楽しく、頭と手を動かして、考えながら科学実験をしたり、植物を育て観察して、科学の面白さを体験できます。
 対象は小学3年生から中学生
 龍ヶ崎エジソンの誕生を期待しています。

毎月第3土曜日の午前9時から正午まで
 内容

- おもしろ実験 電気おこし、エコッキングなど
- おもしろ工作 空気砲作り、折り紙で科学(万華鏡など)
- いきもの不思議発見 植物の種まき(ラッカセイ・綿・大豆など)、
 観察・収穫など

夏休み課題相談室も開設します。

申し込みは市民活動センター(63-0030)まで

インターネットライブ動画放送とFaceBook投稿は市民活動センターホームページ(<http://r-shimin.sakura.ne.jp/>)からご覧になれます。

まいりゅう科学実験教室

子どもたちのための、科学実験教室です。頭と手を動かして、考えながら科学実験したり、植物を育て観察して、科学の面白さを体験します。

● 植物の不思議な生き物観察します

● 植物の不思議な生き物観察します

対象：小学3年生～中学生

日時：毎月第3土曜日の午前9時～正午まで
 5月16日・23日・30日(19日祝日も曜日・午後は第一室)

場所：龍ヶ崎市民活動センター(龍ヶ崎駅前東側244番)

定員：20名 参加費：1組500円(体験料を含む)

内容：おもしろ実験(電気おこしなど)・エコッキング(環境にやさしいお料理)・空気砲作り・折り紙で科学(万華鏡など)・いきもの不思議発見(観察・採集)・種まき(ラッカセイ・綿・大豆など)の観察・収穫など

※ 夏休み課題相談室

主催：まいりゅう小中学生科学クラブ
 協賛：龍ヶ崎市民活動センター(63-0030) 龍ヶ崎市民活動センター
 (龍ヶ崎駅前東側244番) 「子どもがめぐる活動」
 連絡：龍ヶ崎市民活動センター



親子で米作り体験と田んぼの生き物観察活動の参加者説明会



農研機構主催の研究プロジェクト技術研究会にて小規模農業の水稲、大豆有機栽培における病虫害について技術研究を発表された有機農業で龍ヶ崎の第一人者「大人の田んぼ塾」代表 佐藤博 先生が田植えから稲刈りまでの実際と生き物観察を指導します。
 月1回、6ヶ月間。場所は北竜台公園東側田んぼ
 参加費は一家族1,000円(資料図書、DVD)
 取れたお米はお分けしていただけるそうです。
 田んぼでザリガニ採りも楽しいですよ。
 スタートは5月16日 田植えです。
 定員は親子10組
 申し込みは市民活動センター(63-0030)まで



NPO法人 一会(いちえ)の活動紹介

代表 稲川めぐみ 85-4185

NPO法人 一会(すまいる・ピース)は、障がいのある方の就労を支援しています。布を裂いて織り機でコースターやランチョンマットを作り販売しています。みなさん家庭的な雰囲気の中で楽しく作業していました。お求めになりたい方は「ワンダーレックス竜ヶ崎店」「古民家レストラン茶蔵」「コミュニティカフェまつぼっくり」「街かどのパン屋さんもみの木」他で販売しています。
 市民活動センター受付でも サンプルを展示しています。



市民活動センターからのお知らせ

- 例年4月には市民活動センターの駐車場でお花見会が行われます。今年も3組のお花見予定がありましたが、残念ながら3日も雨になって中止となってしまいました。来年は天気であることを祈ります。
- NPO法人 茨城県南生活者ネットの元理事の佐藤節子様より電子ピアノをいただきました。2階和室に設置しましたのでご自由にお使いください。尚、大会議室にも設置されています。
- 登録団体への情報提供時に郵便で送る団体がありますが、登録団体からの要望もあり、郵送をやめて来館時に手渡しをするように一部変更いたしましたのでご協力をお願いいたします。

市民活動センターの5月の予定

まいりゅう科学実験室	5月16日(土)	インターネット放送	5月22日(金)
親子による米作りと生き物観察	5月16日(土)	ふれあいサロン	5月28日(木)
子育てはつらつサロン	5月20日(水)	木工教室	毎週日曜日
健康セミナー	5月20日(水)	絵画デッサン教室	毎週火曜日